

# Swan Link

第13号 2020年11月

安来市内介護サービス事業所55カ所を対象

## 「新型コロナウイルス感染症に関する状況調査」を実施

コロナ禍での、各介護サービス事業所において、業務への影響や感染対策の取り組みなどを調査しました。

(回収率86%)  
アンケート結果を一部ご紹介します。

■通常業務で使用している衛生材料の入荷状況について

年度当初には、マスクや手指アルコールの不足が懸念されました。今回の調査で「入荷の見込みがない(発注しても一ヶ月以内に納品がない)」「衛生材料では、手袋(ビニール手袋・プラスチック手袋・ニトリル手袋)が上位3つを占めており入荷が不安定な状況がわかってきました。

■新型コロナウイルス感染症の感染の影響による職員不足について

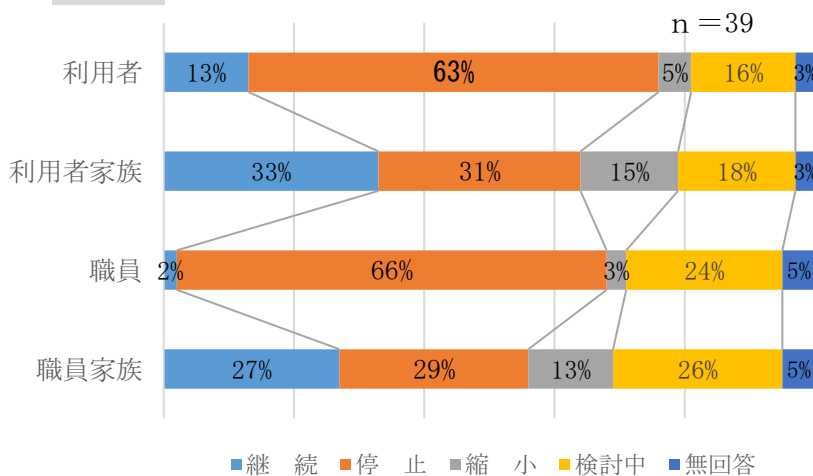
職員の感染或いは家族の感染、市内の感染による学校の休業などに伴う、職員不足への対応方法として「同事業所内の勤務調整」が最も多く、次いで「同法人内での補填」と回答があり、「近隣の事業所との連携での補填」の意見は少数でした。

■利用者・職員等が感染した場合の対応針について  
(居宅・通所・訪問事業所のみ)

利用者及び職員に感染がみられた場合は約6割の事業所がサービス停止を検討していました。

(グラフ①参照)

グラフ①



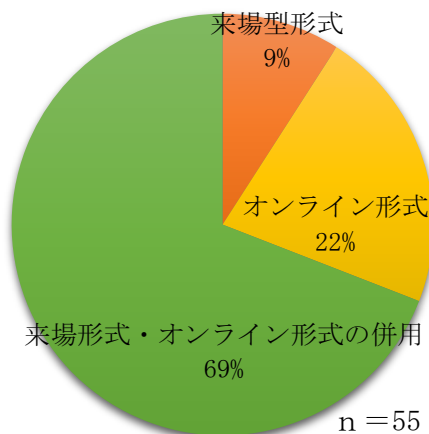
■これからの勉強会・研修会の在り方

来場型・オンライン型の併用を希望する声が多く聞かれました。多様な形式が求められるようになりました。

(グラフ②参照)

■各事業所様へ

この度は状況調査にご協力いただきありがとうございます。お忙しい中、多くのご回答に併せ、貴重なご意見を頂戴できました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



グラフ②

## 「医療介護合同勉強会」

安来市内医療・介護関係者 120名参加

7月20日、安来市総合文化ホール「アルテピア」にて、「新型コロナウイルスの発生に備えて」をテーマに医療介護合同勉強会を開催しました。松江市・島根県共同設置松江保健所を講師に迎え、「新型コロナウイルス感染症について」「スタンダードプリコーション、手洗い、消毒等について」「ゾーニングの考え方」「施設内で感染者が発生した場合の松江保健所の対応」など分野ごとに講演をして頂きました。今年度最初の勉強会となり、コロナ禍での、所謂「3密回避」の運営に参加者の皆様には多分なご協力をいただきました。

具体的には入場時の検温・手指消毒、そしてマスク着用の徹底に加え、受付エリアでの混在を避ける為、受付での氏名確認を省略して、参加申込書を各自で受付箱に投函していただきました。

また、会場内は常時各扉を開放して換気状態を保ち、座席についても前後左右1席ずつ間隔を空けてご使用いただきました。退場時には座席番号によって退場口を定め、参加者同士が必要以上に接触をしないようにしました。

参加者の方々からは、「とても役に立つ」「役に立つ」との感想を多く頂き、それぞれの立場での感染防止対策への契機になったのではないと感じました。



## 高齢者福祉施設向け研修会 新型コロナウイルス感染症対策

【10月28日】

16施設 30名が参加



今年度2回目の研修会を入所機能を持つ高齢者福祉施設を対象に開催しました。

講師に、松江市・島根県共同設置松江保健所 副所長 福島 稔氏に「安来市高齢者福祉施設等感染症対策について」講演を頂きました。

施設内で新型コロナウイルス陽性者が発生した場合の初動対応を中心に、施設や保健所・行政の動きや実際の業務の流れや、PPE（防護服）の脱着、廃棄方法についての実技を踏まえた研修会となりました。

施設ごとに機能や業務内容は異なりますが、研修会で得た知識を自施設の課題解決に少しでも役立てていただけたらと思います。

## 安来市在宅医療支援センター

〒692-0206 島根県安来市伯太町安田 1700 番地

TEL 0854-37-9337 FAX 0854-37-1265 E-mail swan-link@yasugi-med.or.jp